



天覧山 4月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和5年度 第1号
令和5年4月10日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

新年度にむけて（大人になるということ）

校長 中村 公一

暖かい日差しの中で桜や菜の花が輝く季節を迎えました。ここのところ新型コロナウイルスへの感染者数は全国的に下げ止まった状態が続いており、このような中で執り行われた今年の入学式においては、数年ぶりに2、3年生も出席することとしました。先日、旧3年生を送り出したばかりで少し寂しさを感じる校内でしたが、本日、新たに101名の生徒を新1年生として迎えたことで、明るく活気に満ちた春が訪れたように感じます。今年もよい一年になるよう頑張ってお参りたいと考えておりますので、引き続き深いご理解と温かいご支援をいただきますようお願い申し上げます。

さて、これまでの入学式でも生徒の皆さんに対し繰り返しお話ししてきたことなのですが、とても大切なことなので今一度、私からのお願いをみなさんにお伝えしたいと思います。

これから生徒の皆さんが過ごす中学校生活は大人になるための準備期間として重要な時期にあります。ここでいう「大人になる」とは、ただ単に体つきが大きくなり年齢が増すということではありません。「自分のことを自分で考え、自分のためや人のために何をすべきかがわかり、自分から行動出来る人になる」ことをいいます。そのため立派な大人になるために、生徒の皆さんに心がけて欲しいことがあります。

一つ目は「何でも自分から進んで行動する」ことです。何をするのににおいても、まず、自分で考え、何をすべきなのかを自分で判断することが大切です。中学校では学習する教科が増えるだけでなく内容も専門的になります。勉強や部活動などへの不安も、自ら学習する姿勢や自分で考えて判断する主体性があれば、やがてその不安が期待へと変わっていきます。自ら進んで学習する姿勢、自ら進んで行動する姿勢を大切にしてほしいと思います。

二つ目は「知恵を出し合う」ことです。中学校で学習や生活の範囲が広がると、一人の力や考え方は解決できないことが出てきます。けれどもみんなで見合えば、それまでは思いもよらなかったような新しい解決方法が見つかるかもしれません。そのためには普段からお互いを認め、知恵を出し合える関係を育てる必要があります。挨拶や礼儀、思いやりや感謝の心などは、すべてよりよい人間関係を築くことにつながっていきます。みんなで見合えるように、自分から進んでよりよい人間関係を築いていく姿勢を大切にしてほしいと思います。

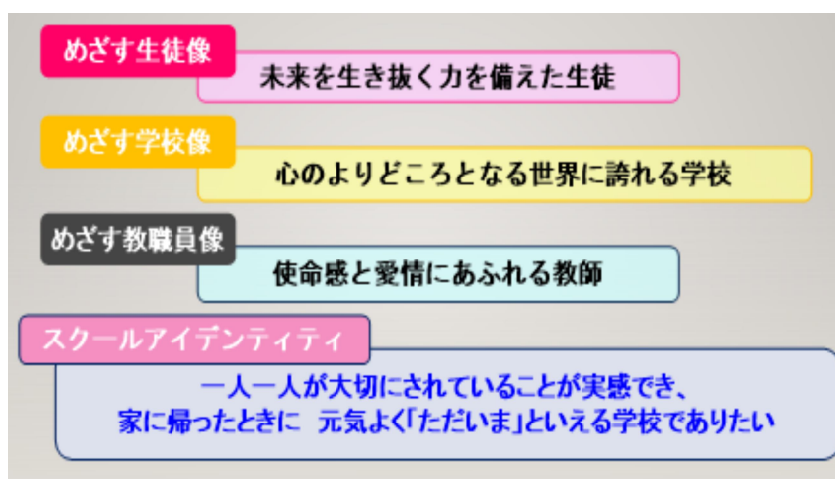
三つ目は「常に深く考える」ことです。最近よく人工知能のことが話題になりますが、コンピュータは深く考えることが苦手です。ですから私たちはコンピュータには出来ないような、深く考えるという習慣を大切にしなければいけません。世の中には解決方法が一つとは限らないことが沢山あります。もしかすると自分が出した解決方法はよい方法ではないのかもしれませんが、そんなとき、なぜそうなったのか、どうすればいいのか、頭と心を使ってよく考えるということを大切にしてほしいと思います。

埼玉県出身の詩人として有名な宮澤章二さんが書いた「自分の一歩」という詩の中には、右のコラム欄に紹介したような一節があります。こうしようと決めたなら、目先のことにとらわれて、思い上がったり、自信をなくしたりするのではなく、目の前にある困難を地道に乗り越えて行くことが大切です。目標を決め、為すべきことをし、努力している自分を信じて行動してほしいと思います。

他の人より一歩先を歩くからといって
他の人より優れているとは限らない。
他の人より一歩後を歩くからといって
他の人より劣っているとは限らない。
自分の目標を定めて歩き出したのだから
自分の一歩をしっかりと信じて進もう。
その決意が最後まで歩く力を生む。

「自分の一歩」(宮澤章二)から

学校はたくさんの方が集って活動をする場所ですから、決して全てのことが順調に進んでいくというわけではありません。様々なトラブルが起きてしまうのはしょうがないこととも言えるでしょう。しかし、これらのトラブル一つ一つに真摯に向き合い、あきらめずに解決に向けて努力していくことが私たちにとってはとても大切なことだと思うのです。そうした努力や心構えを持ち続けていくことにより、やがて私たち一人ひとりがお互いに大切にされている



本校が掲げる三つの理想像とスクールアイデンティティ

ということが実感できるようになるのではないのでしょうか。毎日いろいろなことがあります。時には心が折れそうなほど大変なことがあるかもしれませんが、それでも可能な限りみんなで知恵を出し合い、力を合わせて頑張り、家に帰る頃には「いろいろあったけどまあ何とかなかってよかった。また明日も頑張れそうだ」という気持ちで、元気よく「ただいま」と言えたらいいのではないのでしょうか。生徒にとっても、私たち教職員にとってもそんな学校でありたいと思います。

奇跡の始まりの3年間にするために（失われた3年間にしないために）

私たちはこの3年間コロナウイルスに振り回され続けてきました。この3年間を失われた3年間にするのか、それともかけがえのない貴重な3年間にするのか。すべては私たち次第ではないのでしょうか。以前のような生活を早く取り戻したいと願っている人は多いと思います。しかし以前の生活を取り戻すだけであったなら、この3年間は失われた3年間でしかなくなってしまいます。この3年間に得た経験をもとに、これまで解決できなかった問題も乗り越えて以前よりも更に充実した暮らしを手に入れようとみんなが前向きに考え行動し、その結果社会が変わっていくことになれば、この3年間は奇跡の始まりの3年間と呼ばれるようになるかもしれません。ともに希望を持って進んで参りましょう。

今年度も、大切なお子様の成長を全職員で応援してまいります。飯能西中学校の教育活動に対し、深いご理解と暖かいご支援をくださいますようお願い申し上げます。

令和5年度の人事異動による職員の転出入

転出職員

松浦俊太郎	教頭	越生町教育委員会へ
川崎 育郎	教諭	原市場中学校へ
鈴木 正伸	教諭	退職
熊澤 馨	教諭	美杉台中学校へ
大賀光太郎	教諭	退職
只木 静枝	図書整理員	退職

転入職員

内野 正勝	教頭	加治中学校から
和田 元	教諭	入間・向原中学校から
市川 佑美	教諭	新採用（川越市から）
赤羽 幸夫	講師	美杉台中学校から
榎木 弘文	講師	原市場中学校から
高橋 宙希	教諭	加治中学校から
小室 喜子	図書整理員	新採用
鈴木 幸雄	初任者	研修後補充

○ 4月の主な行事予定 ○

10日（月）	第52回入学式、1学期始業式 1年生保護者会	18日（火）	全国学力学習状況調査（3年生） 部活動仮入部開始
11日（火）	給食開始、自転車点検		1・2年発育測定
12日（水）	新入生委員会部活動説明会 清掃開始	19日（水）	避難訓練（予定）、内科検診
14日（金）	2・3年生・とうのす保護者会 3年発育測定	21日（金）	P T A総会
17日（月）	歯科検診	25日（火）	心臓検診、全国英語聞くこと調査
		26日（水）	内科検診、本入部
		28日（金）	部活動保護者会